

講習

# BeO認定施工士

正しく安全に施工するために



株式会社ビーオ  
BeO認定事務局

BeO®

# 講習をはじめる前に

- 本講習は BeO洗浄剤を正しく安全に使用するためのものです。
- 以下の点を必ずご確認ください。

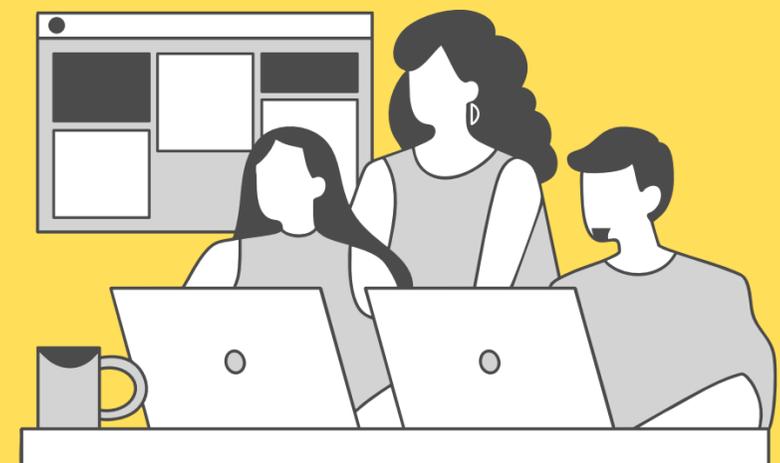
- 動画を最後までご視聴ください
- 施工要領書を熟読ください
- 各洗浄剤の「使えるもの」「使えないもの」を確認ください

## 利用規約への同意

- 当社は講習・使用に関連して発生した損害について一切責任を負いません。
- 製品の使用は認定施工者・認定店に限られます。
- 取扱説明書・マニュアル・注意事項に従って使用してください。
- 利用規約に同意いただいた場合のみ、受講を継続してください。

# CONTENTS

1. BeO製品のラインナップと特性
2. 基本使用方法
3. 製品仕様と保管方法
4. 施工時の安全管理
5. 施工の基本フロー
6. 施工事例
7. 受注前にすべきこと
8. 取扱ルール
9. サポート体制
10. 認定試験へ



# 01

## BeO製品のラインナップと 用途



# BeO製品のラインナップと用途

## 5つのBeO



### Standard

カビ・藻・ヤニ

※アルカリ性

- 外壁/ウッドデッキ（無垢）のカビ汚れ・藻・日焼け
- 漆喰のカビ汚れ
- 部屋のビニールクロスのカビ/タバコのヤニ汚れ
- 浴室内のカビ汚れ
- 外構のコンクリート/石（大理石/御影石/砂岩は除く）



### for OIL

油・ゴム擦れ・石鹸カス

※アルカリ性

- 換気扇・五徳・レンジフード・グリル等の頑固な油汚れ
- 床・タイル等のゴム擦れ汚れ
- 浴室内や洗面台の石鹸カス・皮脂汚れ
- 外構タイル・外壁の黒ずみやスス汚れの除去



### for WOOD

木部の日焼け・カビ

※アルカリ性

- 木部のカビ除去
- 木部の日焼け除去



### for RUST

もらいサビ

※酸性

- サビの流れ跡や赤茶色の変色シミ



### for SCALE

水垢

※酸性

- 蛇口まわりやシンク、鏡などに付着したカルシウム系の白い水垢
- 外壁タイルや床タイルに沈着した水垢
- 鏡面のウロコ状汚れ



# BeO製品のラインナップと用途

## 「使えるもの」と「使えないもの」



Standard

【使えるもの】

石（大理石/御影石/砂岩除く）、コンクリート、ビニールクロス、プラスチック（メラミン除く）、FRP、タイル、ガラス、レンガ、サイディング、漆喰、ステンレス（速やかに水洗い）

【使えないもの】

漆仕上げ、金属仕上げ（ステンレス除く）、大理石、御影石、砂岩、メラミン、水洗い不可のもの、紙、布系クロス、塩素使用不可表示のあるもの



for Oil

【使えるもの】

ステンレス、ホーロー、タイル、陶器、ガラス、コンクリート、モルタル、サイディング、キッチン金属部品、浴室・洗面台表面（水拭き可能素材）

【使えないもの】

水拭き不可のもの（木製家具、漆器）、アルミ、銅、亜鉛、鉄、大理石、繊維製品、劣化塗装面、フッ素加工品、液晶・精密機器



for Wood

【使えるもの】

無垢材のカビ・日焼け・アオ取り

【使えないもの】

クリア仕上げ木材、ニス処理、オイルステイン/ワックス処理、防腐剤塗布木材、酸化した木材



for RUST

【使えるもの】

玄関タイル、外構コンクリート、（一部石材・パッチテスト要）

【使えないもの】

大理石、御影石、砂岩、ガラス、アルミ・銅・亜鉛などの金属、木材、水洗い不可の箇所



for SCALE

【使えるもの】

玄関タイル、外構コンクリート（一部石材・パッチテスト要）

【使えないもの】

大理石、御影石、砂岩、ガラス、アルミ・銅・亜鉛などの金属、木材、水洗い不可の箇所

# 02

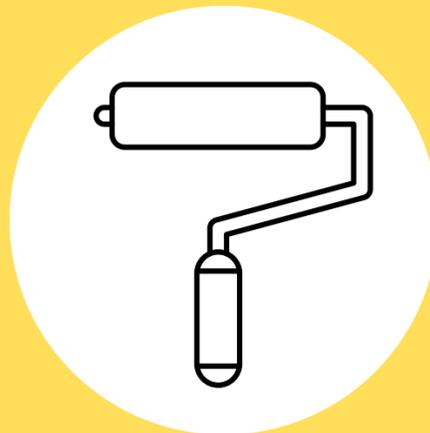
## 基本使用方法



## 塗布に使う代表的な道具



噴霧器



ローラー

※必ず化繊を使用すること



刷毛

※必ず化繊を使用すること



ジョウロ



# 基本使用方法

## 希釈倍率



Standard

カビ・藻・ヤニ

3倍希釈

「原液1：水2」  
→ 合計3倍量で使用



for OIL

油汚れ・ゴム擦れ  
・石鹸カス

3倍希釈

「原液1：水2」  
→ 合計3倍量で使用



for WOOD

木部の日焼け  
・木部のカビ

3倍希釈

「原液1：水2」  
→ 合計3倍量で使用



for RUST

もらいサビ

原液～2倍希釈

「原液1：水1」  
→ 合計2倍量で使用



for SCALE

水垢・スケール

原液～2倍希釈

「原液1：水1」  
→ 合計2倍量で使用

## 塗布に使用する道具（液剤別）



Standard

カビ・藻・ヤニ

- ・噴霧器
- ・ローラー
- ・刷毛
- ・ジョウロ



for OIL

油汚れ・ゴム擦れ  
・石鹸カス

- ・噴霧器
- ・ローラー
- ・刷毛
- ・ジョウロ



for WOOD

木部の日焼け  
・木部のカビ

- ・ローラー
- ・刷毛

※落ちムラが出ないように塗布する



for RUST

もらいサビ

- ・刷毛

※飛散しないように塗布する



for SCALE

水垢・スケール

- ・ローラー
- ・刷毛
- ・ジョウロ

※飛散しないように塗布する

# PROHIBITED ACTS



## 禁止事項

- 混ぜて使用することは絶対禁止

アルカリ性と酸性が混ざると有害ガスが出て危険！

例え同じ液性でも混ぜないこと！

- 獣毛の刷毛は使わない（化繊を使う）
- 気温が5度以下のときは、施工を控える

# 03

## 製品仕様と保管方法



## 正しく管理する



- 業務用ボトル容量：4kg
- 3倍希釈時の施工面積：約 240㎡（下地や汚れの程度で変動）
- 保管条件：直射日光を避け、冷暗所で保管
- 使用期限：未開封で 製造後1年以内 を目安

### <注意点>

- 車内など高温・多湿な場所に放置すると、液剤の効果が低下する場合がありますため避けてください

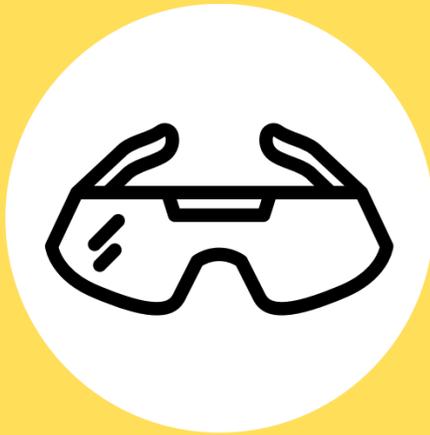


# 04

## 施工時の安全管理



## どんな時でも安全第一



保護具を必ず着用  
手袋、ゴーグル、マスク



施工前に周囲を養生  
(植栽や車両をカバー・  
移動)

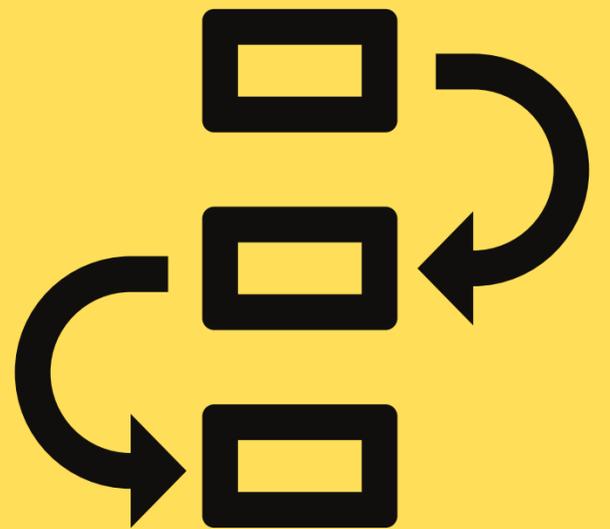


風がある時は、  
噴霧器は使用しない



# 05

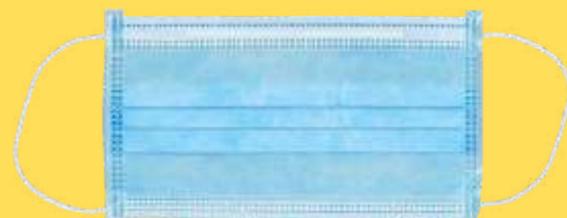
## 施工の基本フロー



# 施工の基本フロー（基本編）

## 施工前準備

- 保護具を必ず着用（ゴーグル、手袋、マスク）
- 施工前に周囲を養生（植栽や車両をカバー・移動）
- 長いホースを用意（複数人数の場合は複数個用意）
- 日陰の箇所を確認（日が当たらない場所から施工する）
- その他は施工要領書を確認



## 洗剤塗布

- 汚れに応じて適切なBeOを選択し、希釈する
- どの道具を使うか選択をする（風がある時は噴霧器は使用しない）
- 対象箇所を十分に水で濡らし、埃を除去
- 慎重に塗布し、少しずつ範囲を広げていく（変色など問題がないか）



## 放置・反応・洗い流し

【カビ】塗布後は30分以上放置し、場合によってブラシを使用しながら水で洗い流す

【油・ゴム擦れ】数分置いて浮かせてからブラシ等で洗浄し、水で洗い流す

【木部】色変化を確認したらすぐに水で洗い流す or 擦らずに拭き取る

【水垢・もらいサビ】刷毛・メラミンスポンジを使用しながらすぐに水で完全に洗い流す

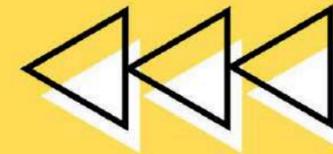
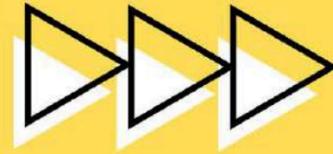




基本施工方法

# ビーオの 使い方

もう悩まない！



## 頑固な汚れの場合

- 頑固な汚れは「時間を置き複数回施工」をする
- 汚れが複数重なっている場合も



## 汚れが複数重なっている場合

- 複数のBeOを都度十分に洗い流して順番に施工する  
例) 床面タイルの黒ずみ汚れの場合：  
①for OILを施工→②洗い流す→③Standardを施工&30分放置  
→④洗い流す→⑤for SCALEを施工→⑥すぐに洗い流す



### <注意点>

- 異なる液剤同士、またアルカリ性液剤（Standard/for Oil/for Wood）と、酸性液剤（for RUST/for SCALE）が混ざることのないようにしっかりと完全に洗い流すこと
- 刷毛などの道具も液剤毎に変えるか、水で十分に洗い流してから使う（使いまわさないこと）

# 施工の基本フロー（CR-Fの仕上げ活用例）

- for SCALEは酸性のため、使用箇所は限定されますが、パッチテストで問題がない場合のみ、より見た目を良くする仕上げ洗剤として使用が可能です。

## 仕上に有効な箇所例

- 玄関ポーチタイル
- 屋外タイル
- 磁器質タイル（屋外・水回り）
- 陶器製の洗面ボウル

### <注意点>

- 大理石など酸に弱い素材には使用不可
- 金属部は必ず避けること
- 使用後は大量の水で洗い流し、残留を防ぐ



# 施工の基本フロー（特殊ケースの注意点）

## 古い木材

- 繰り返し施工可能だが「塗り過ぎで白くなりすぎ」に注意
- 酸化している場合は塩素ガス発生リスクあり → 十分換気

## コケは落とせない

- カビや藻は除去できるが、コケは植物 → Standardでは反応しない
- コケはスクレイパー等で物理的に除去

## 色素沈着

- カビ菌は除去されても、素材内部に引き込まれた色素沈着は残る場合がある
- その場合は、色が残る場合があるため、事前にお施主様にしっかりと説明しておく



# 06

## 施工事例



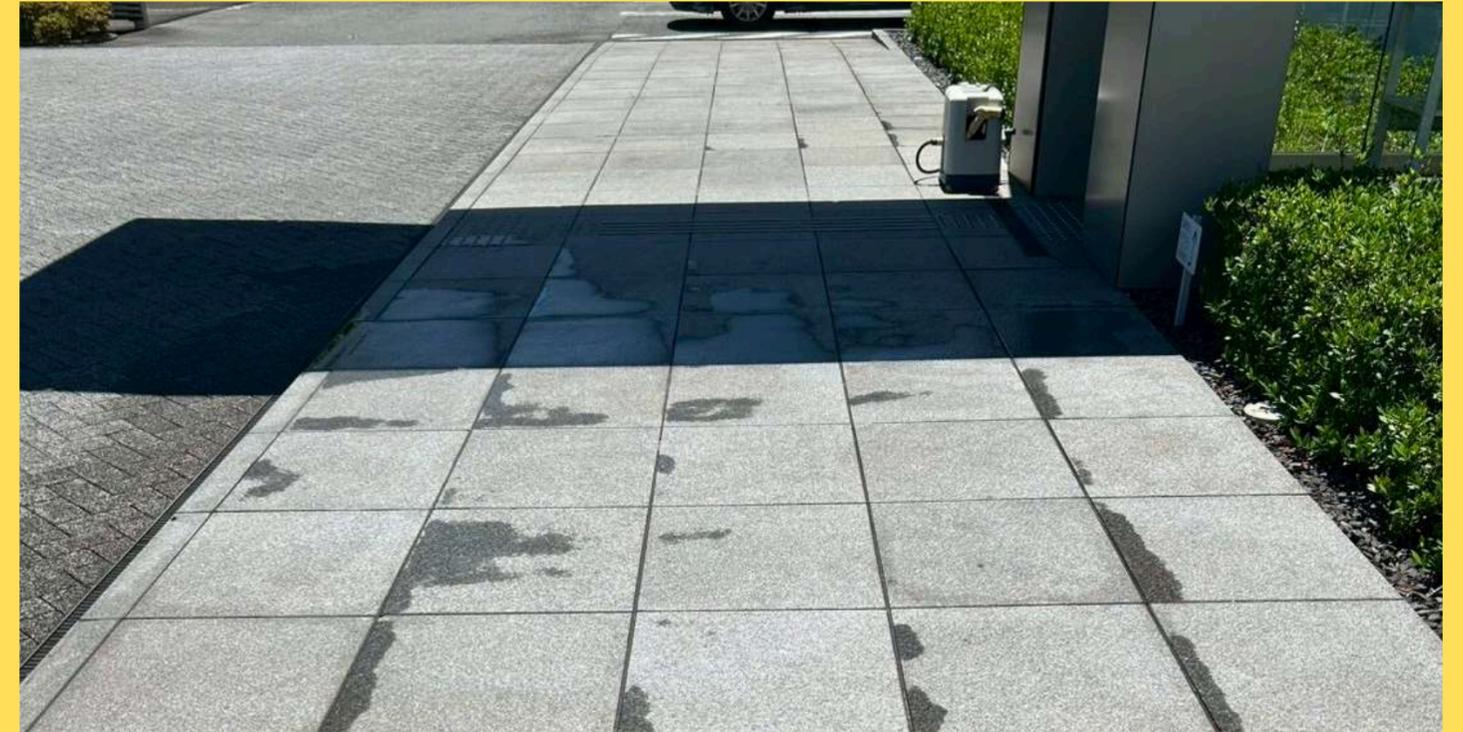
# 施工事例 (カビ・藻汚れ -Standard)



# 施工事例（カビ汚れ -Standard）



# 施工事例 (油・ゴム擦れ汚れ -for Oil)



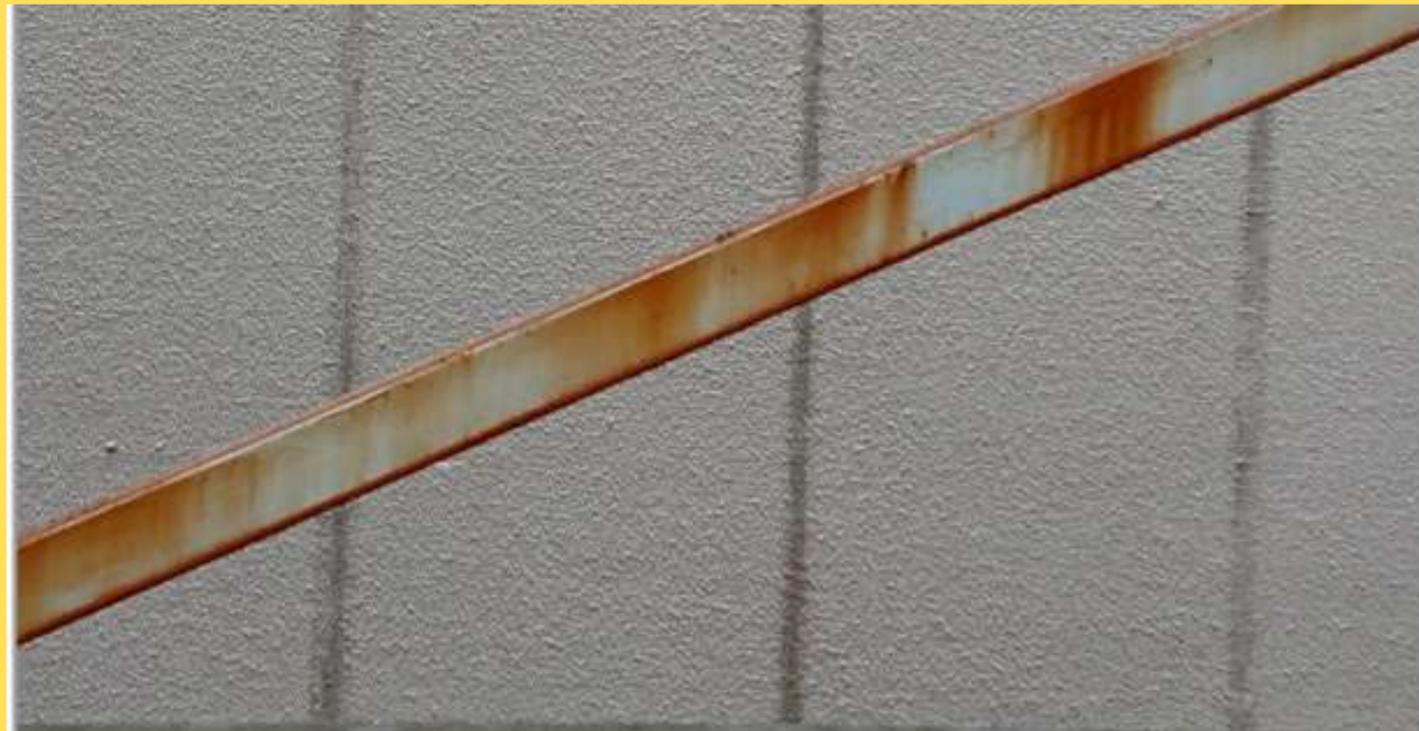
# 施工事例 (油・石鹼かす汚れ -for Oil)



# 施工事例（木部の日焼け・カビ汚れ -for Wood）

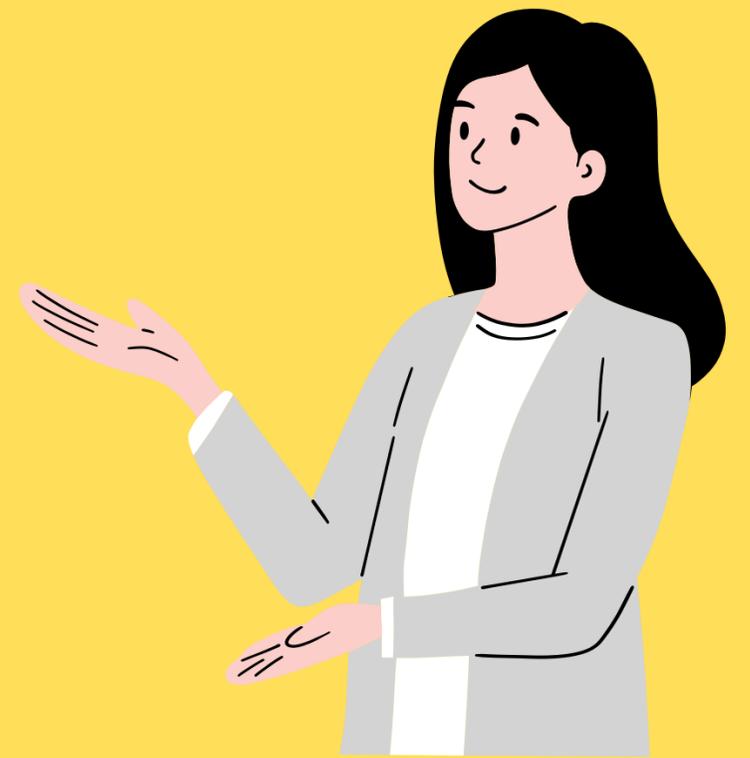


# 施工事例 (水垢 -for SCALE・もらいサビ -for RUST)



# 07

受注前にするべきこと  
(顧客応対)



## 必ずお施主様に説明しておくべきこと



パッチテストを複数箇所行い「問題がないか」「効果があるか」を確認をした上で以下の説明を行なってください。

- 新品同様になるわけではない
- 色素沈着や経年劣化による色残りは完全には取れない
- 落ちない箇所もある可能性がある
- 「必ず落ちます」といった保証は避ける



## 書面での同意



以下の内容は 書面で同意を得ることが必須です。

- パッチテストを実施し、問題がないことを事前に確認してもらう
- 色素沈着・経年劣化などにより、完全に汚れが落ちない場合がある

### <同意書の役割>

- 顧客との認識齟齬を防止
- 不測のクレーム・トラブルから施工者を保護

同意書ダウンロードはこちら



# 08

## 取扱ルール



## 認定販売店・認定施工士

- BeO製品の使用は 認定販売店・認定施工士のみ
- 譲渡・転売は禁止
- 認定施工士試験合格者のみ正規ルートで購入可能



# 09

## サポート体制





## 公式LINEでのサポート

- 認定施工士となった方には、公式LINEへの招待URLをお送りします。
- 現場でのサポートを受けることができます。



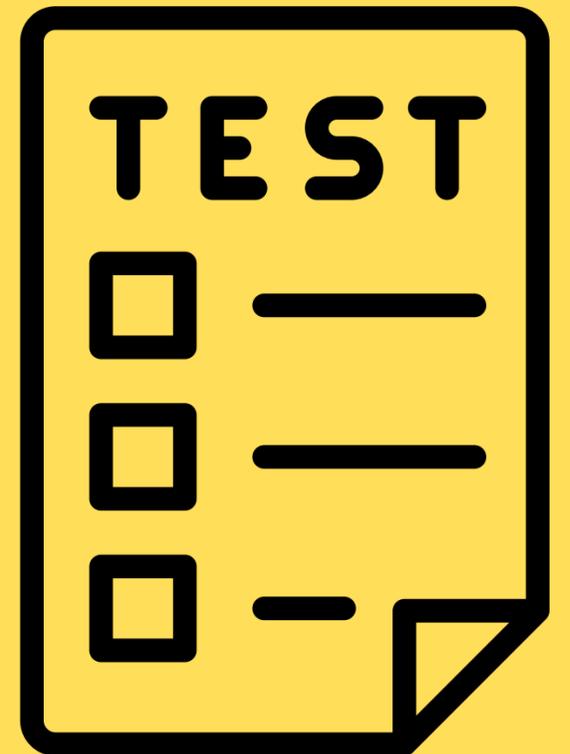
## SNSでの発信

- Before/After画像や施工動画をお送りいただければ、当社で編集・加工を行い、公式SNSで発信します。
- 投稿には「#貴社名」や施工士名を入れて発信するため、施工実績のアピールや集客にご活用いただけます。



# 10

認定試験へ



## 試験へお進みください

- BeOは今までにない画期的な洗浄剤です。
- 正しい説明と施工により、顧客満足とビジネス拡大につながります。

- この後、BeO認定施工士試験 へとお進みください。
- 合格者には認定番号が自動発行され、製品購入が可能となります。
- 合格者にはサポートが受けられる公式LINEへの招待URLも送付されます。
- 不合格の場合は、再度動画を視聴いただき 再試験が可能です。

講習動画を見る



認定試験へ



